

外来担当医表

令和3年08月01日～

外来受付

(予約あり) 午前8:00～12:30 / 午後13:30～17:00
(予約なし) 午前8:00～11:30 / 午後13:30～16:30

診療

月曜日から金曜日 午前9:00～13:00 / 午後14:00～17:30
土曜日 午前9:00～13:00

詳細は HP(<https://fch.or.jp/gairai.php>) よりご確認ください。

※1 土曜日は不定期の為事前に診療日のご案内をしています。 / ※2 受付時間13:30～16:00

	月	火	水	木	金	土	
内科	午前	山口/大久保/北村	福田/大久保/阿部	阿部/大久保/ 診療9:30から 野中	新田/山口/ 下浦(山梨大学)	新田/大久保 診療9:30から 野中	担当医/ 西田 大久保(第2週) 診療9:30から 野中
	午後	新田/野中	山口/新田	福田/新田	福田/大久保	尾崎/野中	
外科	午前	石井	四元 受付11:00まで	石井	石井	受付10:30まで 石井 診療11:00から 西山	四元
	午後	西山		西山/中田(山梨大学) 受付16:00まで 乳腺外科		四元	
整形外科 (関節治療センター) 月～金の午前中は 予約以外の受付 11:30まで	午前	高山(定)/山本	片桐/山本	井上 / 予約 高山(拓)	片桐/山本	受付10:00まで 時吉 診療10:00から 片桐 高山(定)	予約 高山(拓) / 帝京大学 受付10:30まで 時吉※1
	午後	予約 片桐 下肢スポーツ疾患専門外来 診療15:30から	予約 高山(拓) 診療15:00から	予約 高山(拓) 一般整形・脊椎専門外来 井上※2	予約 高山(定)	予約 高山(拓)	
小児科	午前	磯貝 受付12:30まで	磯貝 受付12:30まで	磯貝 受付12:30まで		磯貝 受付12:30まで	磯貝 受付12:30まで
	午後	磯貝 受付17:00まで	磯貝 受付17:00まで	磯貝 受付17:00まで		磯貝 受付17:00まで	
眼科	午前	深澤 診療12:00まで	村田	村田	深澤	村田	深澤
	午後	坂本(山梨大学)	予約 検査・外来手術		予約 検査・外来手術	予約 検査・外来手術	
耳鼻科	午前	中澤 診療9:30から 受付11:30まで		中澤 診療9:30から 受付11:30まで	荒井(山梨大学)	中澤 診療9:30から 受付11:30まで	
	午後	予約 補聴器外来 (不定期・月2回)					
脳外科	午前		三枝(頭痛外来)				
	午後			三枝	予約 三枝(認知症外来)		
皮膚科	午前	相川	相川		相川		相川
	午後	相川	相川		相川	相川	
内視鏡 センター	午前	野中	野中	福田/田中	岩本	福田/石井/田中	山梨大学/消化器内科
	午後	福田/石井/四元	野中	野中	岩本	石井	



Access 石和温泉駅より 徒歩で20分 / 車で5分

編集後記

地域の皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。気温も高く、蒸し暑い季節になりました。このような時期は脱水や熱中症に注意が必要です。こまめに水分補給を行い、体調の変化に十分にお気をつけください。皆様が元気に夏を過ごせますよう心から願っております。

広報委員会

委員長：四元 宏和
編集長：浅利 未菜希

編集校正：山中 裕己

笹森/森屋/塩沢/天川/小林(那)/
加藤/古屋/山田/伊藤/三枝

病院概要

診療科目

内科/外科/消化器内科/消化器外科/呼吸器内科/整形外科/脳神経外科/小児科/眼科/耳鼻科/皮膚科/麻酔科/リハビリテーション科/血液浄化センター(人工透析)

設備

マルチスライスCT装置/マンモグラフィー /MRI装置/超音波装置/骨密度測定装置/内視鏡/外科用イメージ/連続血管撮影装置/総合リハビリテーション施設

病床数

総病床数:150床(一人当たり8m)/血液浄化センター:20床



広報誌



syunkasyuutou

2021
夏号
vol.
59

関節治療センターのご案内

当センターは平成22年4月より関節鏡手術を開始し、年々手術症例数を増やし令和2年度は人工関節62例・関節鏡99例・その他の骨折119例・その他の手術139例・総合計419件の手術を行っております。その中でも、股関節の手術は、県外から手術を希望される患者さんの紹介が多くなっております。整形外科医も常勤3名・非常勤3名と数を増やし、安心して安全な手術をご提供出来るよう体制を整えており、患者さんひとりひとりと、親切丁寧に説明し、その人らしい生活が維持できるようお手伝いさせて頂いております。

関節疾患とは?

関節の痛みを引き起こす状態です。軟骨の変性や損傷、腱、靭帯の断裂、生まれつきの形態異常などが原因です。

主な症状

- 肩関節…肩が重い。肩の夜間痛が続く。肩が挙がらない。
- 手外科…手(上肢)外傷・痛み、しびれ、運動障害
- 股関節…動作時関節が痛い。関節の動きが悪い。痛みのためスポーツが出来ない。
- 膝関節…膝が痛い。階段の登り降りが痛い、膝がガクガクする。

診断

医師の診察でおおまかに予想できます。追加として画像診断(レントゲン、CT、MRIなど)を行います。当院にはCT、MRIがあり早期撮影が可能です。

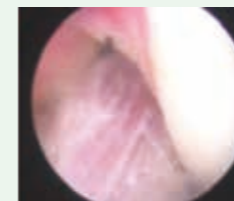
関節鏡

関節の周囲に安全な部位からカメラを挿入し関節内の観察を行います。さらに別の穴を作成し、関節内病変に対し処置(滑膜切除や損傷部位の修復、靭帯の再建など)を行います。

治療

写真は膝関節鏡視下前十字靭帯

※入院中は、リハビリスタッフが手術の翌日から付き添って訓練を行っております。



鼠径ヘルニア 腹腔鏡下手術

—手術が唯一の治療法—



副院長
西山 徹 医師
日本内視鏡外科学会技術認定医

●鼠形ヘルニアとは

太ももの付け根を医学的に鼠径部と呼びます。ヘルニアの語源は、ラテン語で「飛び出す」という意味です。鼠径ヘルニアは太ももの付け根から内臓(主に小腸)が脱出してくる病気で一般的には脱腸と呼ばれています。鼠径ヘルニアはお腹の中の組織が出てくる場所(穴)の違いで、次の3つのタイプに分かれます。

- 1) 外鼠径ヘルニア 鼠径ヘルニアで一番多い。
- 2) 内鼠径ヘルニア 高齢者に多くみられます。
- 3) 大腿ヘルニア 中年以降の女性に多く陥頓する可能性が高いタイプです。

●症状は?

最初は鼠径部皮膚の軽度の腫れに始まり次第に違和感やつっぱり感を伴ってきますが、押さえたり仰向けに寝たりすると引っ込みます。放置しておくと腫れが急に硬くなったり押さえても引っ込まなくなり腹痛や嘔吐を伴うことがあります。これをヘルニアの嵌頓(カントン)といい、緊急で手術をしなければ脱出した腸が壊死して腸切除が必要になることもあります。放置すると腹膜炎併発の危険性もあります。



●治療方法は?

手術が唯一の治療法です。様々な手術方法があり各施設によりやり方が異なっているのが現状ですが、多くの施設で再発率の観点から人工の膜(メッシュ)を用いた方法が現在主流となっています。当院では12mm、5mm、5mmの小切開3か所でお腹の中にカメラ(腹腔鏡)を入れヘルニアの場所を正確に確認し、確実に修復できる腹腔鏡下ヘルニア修復術を基本に手術方法を選択しております。再発率も低く手術後の疼痛も軽度で傷口も目立たない手術方法です。平均入院期間は5日後です。

●腹腔鏡下手術は何処の病院でも受けられますか?

残念ながら、どの病院でも受けられるわけではありません。鼠径ヘルニア治療における腹腔鏡手術の全国普及率は5～6割程度だと推測されます。また、腹腔鏡手術は、鏡視下で腹膜の切開と剥離、縫合を行うため、医師の経験しだいで手術時間も長くなります。このことが全国的な普及の遅れにつながっていると思います。但し、患者さん側のメリットが大きい手術でもあります。症状に気付いたら、陥頓してしまう前に手術内容を含め、専門医に相談してみてください。

外科 西山Dr
外来
受付時間 13:30～17:00
診察時間 14:00～17:30

ヘルニアの種類・年齢・全身状態・既往歴などに応じ患者さんと御相談しながら最適な手術方法を選択していきます。初発例はもちろん再発例には腹腔鏡下手術が良い適応となります。症状にお心当たりの方はお気軽に御相談下さい。

訪問リハビリテーションのご案内



当院の訪問リハビリテーションは理学療法士2名、作業療法士2名が実働として実施しています。多くの利用者さんは笛吹市の2次救急指定病院である当院に受診や入院歴があり、入院中のリハビリテーションから訪問リハビリテーションへの連携を図ることが出来、継ぎ目のないリハビリテーションが可能です。

目的

利用者さんの状態、ご家族の介護力、家庭環境などを考慮し、医師の診療に基づき、リハビリテーションの観点から生活上必要なサービスを提供し、生活の質の確保を重視した日常生活が継続できるように支援します。

必要なこと

- ①介護保険認定調査の結果、介護保険の認定がおりている方
- ②受診時に当院医師とケアマネージャーが訪問リハビリテーションを必要と判断すること

開始までの流れ

- 必要なこと、すべてをクリアした後
- ①主治医が指示書作成
 - ②担当者会議の時に申込み、契約を締結し、開始日を決定していきます

お問い合わせ TEL:055-262-2185

不明な点がございましたらお気軽にご連絡ください。当事業所の訪問リハビリテーションに関するご相談を承ります。

血液浄化センターよりお知らせ

血液浄化センターは、2003年4月より血液透析を開始し、笛吹市を中心とした周辺地域に根ざした、地域医療を実践しています。外来通院透析、長期入院透析や手術目的での一時的な透析治療まで幅広く対応しております。また、無料で鑑賞できるテレビが全床についており、快適な環境を提供しています。透析に通院することが困難な場合、無料にて送迎を実施しておりますので、お気軽にご相談ください。住み慣れた自宅での生活を継続するために、リハビリ職員による筋力トレーニングを行い、フレイル予防(より早期からの介護予防)に努めています。透析中に行うため、時間を有意義なものにすることが出来ます。透析患者さんは、下肢の動脈疾患の合併症リスクが高いため早期発見、早期治療が大切です。そのために、定期的に足病変の確認を行い、必要ならば専門医への紹介を行い、悪化させない体制づくりをしています。透析をされている方の、安心・安全な医療の提供を目指しています。

ご不明点はお問合せください

●リハビリ職員による筋力トレーニング



血液浄化センター

ベット数: 20床
スタッフ数: 18名

